

19:00～20:15 オンライン

話し言葉（音声言語）は、有効で効率的なコミュニケーション手段です。感情や情報などのメッセージを表出する「窓」となる発声と構音は、ヒトの生活に欠かせません。それが難しい状態（発声発語障害）は、個人の社会生活を阻害し、生活の質を低下させます。

発声と構音の仕組み（解剖生理）、評価と治療の原理原則を基盤として、発声発語の異常とその原因（病態）の理解に努め、最適な治療を選択・実施することが、言語聴覚士（ST）に期待されます。乳幼児から高齢者まで、様々な疾患や原因で起こるものであり、病態についての合理的な説明を行い、今日のコミュニケーション手段を提供することが大切です。

今回のオンラインセミナーでは、発声と構音の仕組みを概説し、評価と治療の原理原則を踏まえて発声発語障害診療での ST の役割を示します。症例を提示して、評価と鑑別診断、治療について解説します。

## 7/14(金) 音声障害 1

### 発声の仕組み、症例

声帯麻痺

喉頭摘出術後の代用音声

## 7/21(金) 音声障害 2

### 難解な問題、症例

変声障害

痙攣性発声障害

心因性失声症

## 7/28(金) 構音障害 1

### 構音の仕組み、構音の獲得、症例

語音症

機能性構音障害

## 8/4(金) 構音障害 2

### 神経学的基盤、症例

発語運動障害 dysarthria

声量低下症

# 発声発語障害の評価・鑑別

講師

荻安誠

先生

ヒト・コミュニケーション科学ラボ  
潤和リハビリテーション診療研究所

●参加費 1 講座につき 当研究所会員 1,000 円 非会員 3,000 円

●申込方法 右記の QR コードからお申込みください。

●詳しくはホームページをご覧ください。 <https://fc-science.or.jp/guide7.html>

